



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日建工学株式会社

コード番号 9767 URL <http://www.nikken-kogaku.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 行本 卓生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 皆川 曜児

TEL 03-3344-6811

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,398	12.0	50	△41.7	63	△30.2	54	△32.5
26年3月期第2四半期	3,035	21.0	86	—	91	—	80	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 62百万円 (△41.8%) 26年3月期第2四半期 106百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	2.97	—
26年3月期第2四半期	4.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
27年3月期第2四半期	4,977		2,250		45.2
26年3月期	6,469		2,262		35.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,250百万円 26年3月期 2,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
27年3月期	—	3.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	2.4	450	△11.9	450	△13.2	370	△20.4	20.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	18,622,544 株	26年3月期	18,622,544 株
27年3月期2Q	357,162 株	26年3月期	351,632 株
27年3月期2Q	18,268,122 株	26年3月期2Q	18,276,108 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
 なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な金融・経済政策や円安・株高に支えられ、企業収益は改善し、景気は緩やかな回復基調に推移いたしました。輸入物価の上昇、消費増税を背景に国内物価の上昇、個人消費の低迷等により、国内景気の先行きは不透明感が増してきております。

当社グループにおきましては、東日本大震災の復旧事業における海岸堤防で使用する護岸ブロック等の出荷が順調に伸長したことから、売上高は増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、3,398百万円（前年同四半期比362百万円増）となりましたが、鋼製型枠の減価償却費等が増加し、営業利益は50百万円（前年同四半期比36百万円減）、経常利益は63百万円（前年同四半期比27百万円減）、四半期純利益は54百万円（前年同四半期比26百万円減）となり、増収減益となりました。

事業別の売上高は、型枠貸与事業が867百万円（前年同四半期比28百万円減）、資材・製品販売事業が2,530百万円（前年同四半期比390百万円増）となりました。

収益面では、型枠貸与事業の営業利益が43百万円（前年同四半期比28百万円減）、資材・製品販売事業の営業利益が7百万円（前年同四半期比7百万円減）と前年同四半期よりそれぞれ減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

①資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,977百万円となり、前連結会計年度末比1,492百万円の減少となりました。

その主な要因は、商品在庫の増加による商品及び製品の増加288百万円および売上債権の回収等による受取手形及び売掛金の減少1,837百万円等によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,726百万円となり、前連結会計年度末比1,481百万円の減少となりました。

その主な要因は、仕入債務の支払等による支払手形及び買掛金の減少1,369百万円等によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,250百万円となり、前連結会計年度末比11百万円の減少となりました。

その主な要因は、四半期純利益による利益剰余金の増加54百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少73百万円、その他有価証券評価差額金の増加8百万円等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下資金という。)は、前連結会計年度末に比べ、ほぼ同額の814百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は211百万円(前年同四半期は251百万円の収入)でした。主に税金等調整前四半期純利益63百万円、売上債権の減少1,802百万円による収入と、仕入債務の減少1,359百万円、たな卸資産の増加289百万円による支出等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は75百万円(前年同四半期は35百万円の支出)でした。主に鋼製型枠等有形固定資産の取得による支出70百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は142百万円(前年同四半期は82百万円の支出)でした。主にリース債務の返済による支出92百万円、配当金支払による支出72百万円、短期借入による収入30百万円、短期借入金返済による減少7百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	814,966	814,624
受取手形及び売掛金	4,143,621	2,306,181
商品及び製品	363,530	652,298
原材料及び貯蔵品	7,594	8,307
その他	150,703	183,601
貸倒引当金	△71,079	△70,155
流動資産合計	5,409,336	3,894,859
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	464,696	469,255
その他(純額)	178,257	177,333
有形固定資産合計	642,953	646,589
無形固定資産		
	13,319	16,682
投資その他の資産		
投資有価証券	240,053	250,269
その他	306,608	311,987
貸倒引当金	△142,273	△143,364
投資その他の資産合計	404,389	418,891
固定資産合計	1,060,662	1,082,162
資産合計	6,469,998	4,977,022
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,227,432	1,858,334
リース債務	191,635	172,849
未払金	105,447	114,134
未払法人税等	46,058	14,633
役員賞与引当金	16,900	—
その他	229,301	150,765
流動負債合計	3,816,775	2,310,718
固定負債		
リース債務	292,578	318,234
繰延税金負債	6,071	8,239
退職給付に係る負債	71,077	68,201
その他	21,436	21,436
固定負債合計	391,164	416,112
負債合計	4,207,939	2,726,831

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,691	541,691
利益剰余金	702,731	683,844
自己株式	△60,259	△61,288
株主資本合計	2,188,590	2,168,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,468	81,515
その他の包括利益累計額合計	73,468	81,515
純資産合計	2,262,058	2,250,191
負債純資産合計	6,469,998	4,977,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,035,395	3,398,175
売上原価	2,339,179	2,669,609
売上総利益	696,215	728,565
販売費及び一般管理費	609,779	678,199
営業利益	86,436	50,366
営業外収益		
受取利息	522	538
受取配当金	2,752	3,036
たな卸資産処分益	5,593	7,254
貸倒引当金戻入額	486	—
為替差益	21	8,258
その他	956	681
営業外収益合計	10,332	19,769
営業外費用		
支払利息	5,023	5,921
その他	233	367
営業外費用合計	5,256	6,288
経常利益	91,512	63,848
特別利益		
固定資産売却益	997	—
特別利益合計	997	—
税金等調整前四半期純利益	92,509	63,848
法人税等	12,172	9,650
少数株主損益調整前四半期純利益	80,337	54,197
四半期純利益	80,337	54,197

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	80,337	54,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,530	8,047
その他の包括利益合計	26,530	8,047
四半期包括利益	106,868	62,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,868	62,244
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	92,509	63,848
減価償却費	111,756	145,487
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△486	167
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△16,900
退職給付引当金の増減額(△は減少)	223	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△2,875
受取利息及び受取配当金	△3,275	△3,574
支払利息	5,023	5,921
固定資産売却損益(△は益)	△997	—
為替差損益(△は益)	△19	△6,496
売上債権の増減額(△は増加)	1,399,059	1,802,511
たな卸資産の増減額(△は増加)	△202,393	△289,181
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,063,074	△1,359,355
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,142	△22,793
その他	△36,630	△62,591
小計	280,552	254,166
利息及び配当金の受取額	2,820	3,119
利息の支払額	△5,023	△5,921
法人税等の支払額	△26,995	△40,139
営業活動によるキャッシュ・フロー	251,353	211,225
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,783	△70,433
有形固定資産の売却による収入	6,100	—
貸付けによる支出	—	△15,000
貸付金の回収による収入	1,000	15,000
その他	△2,846	△4,848
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,529	△75,282
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	30,000
短期借入金の返済による支出	—	△7,500
自己株式の取得による支出	△280	△1,028
自己株式の処分による収入	77	—
配当金の支払額	—	△72,108
リース債務の返済による支出	△81,936	△92,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,139	△142,754
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	6,468
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	133,687	△341
現金及び現金同等物の期首残高	638,298	814,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	771,986	814,624

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	895,754	2,139,641	3,035,395
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	895,754	2,139,641	3,035,395
セグメント利益	72,014	14,421	86,436

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	86,436
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	86,436

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	867,620	2,530,555	3,398,175
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	867,620	2,530,555	3,398,175
セグメント利益	43,361	7,005	50,366

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	50,366
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	50,366

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。